

平成26年度 当初予算 (案)

主な事業の説明書

生涯学習部

事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 13 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 学校教育の充実

(施策) 他校種・地域住民との交流・連携

(基本事業) 「交流」「連携」をキーワードとした
開かれた学校づくりの推進

【事業名】 学校・家庭・地域を結ぶ総合推進事業費

【説明項目】 学校支援地域本部事業と放課後子ども教室推進事業について

【26年度】 4,550 千円 【25年度】 4,916 千円 【増減額】 △ 366 千円

1. 事業の目的

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域の連携体制を構築することにより、教師と子どもが向き合える時間の拡充や地域の教育力向上を図る。また、放課後や週末に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の協力を得ながら体験活動を行うことにより、多彩な人々との交流を図るとともに、心豊かですこやかに育まれる環境を目指す。

2. 事業の目標（数値目標）

- 学校支援地域本部事業
平成25年度から全11中学校区で実施しており、今後も地域の特性を活かしながら継続する。
- 放課後子ども教室推進事業
参加者4,000名、提供プログラム13種類を継続して実施する。

3. 事業の概要

- 学校支援地域本部事業
各地域の小中学校に10本部を置き事業を実施する。
大曲3、神岡1、西仙北1、中仙1、協和1、南外1、仙北1、太田1
中仙地域については、コーディネーターを増員し隣接中学校区も合わせて支援する。
＜事業内容＞
学習支援、登下校見守り、部活動支援、環境整備等
- 放課後子ども教室推進事業
参加者4,000名、提供プログラム13種類を継続して実施する。
＜事業内容＞
わくわくスペース 学校内で放課後に行う体験教室（紙芝居、囲碁、朗読、昔語り、読み聞かせ、ジュニア体操）
わくわく体験活動 休日や長期休業期間に実施する広域的に参加者を募る体験教室
おらだの体験学校 仙北ふれあい文化センターを拠点に毎週土曜日に実施する体験教室等

4. これまでの成果と今後の方向性

- ・児童数は減少傾向にあるものの、参加者は一定の水準を維持した。
- ・保護者の理解も進み、ボランティアに対して協力的である。
- ・国、県の予算を注視しながら進めていく。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

- 学校支援地域本部事業
現在ボランティアが固定化してきていることが背景にあり、コーディネーターを各地域に複数配置することにより、新たなボランティアの発掘につなげる。
- 放課後子ども教室推進事業
参加は任意で行っているが、本事業も大きな効果をあげていると思われる。学校側の要望や評価も高く、指導陣の教育的配慮も何われ、教育効果も高いと思われることから、改善しながら継続する。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
4,550	2,688			1,862

【国県支出金】 15款2項8目：学校・家庭・地域を結ぶ総合推進事業費補助金

事業説明書

10 款 5 項 2 目 15・16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 文化活動参加機会の提供

【事業名】 国民文化祭関連事業費（補助分・単独分）				
【説明項目】 「第29回国民文化祭・あきた2014」大仙市主催事業及び関連経費について				
【26年度】	28,541 千円	【25年度】	1,113 千円	【増減額】 27,428 千円
1. 事業の目的				
平成26年10月に本県で開催される第29回国民文化祭では、有形無形の「秋田らしさ」の発揮に努めることを基本としつつ、新しい取り組みにも力を入れることとしている。大仙市としても積極的に参加し、地域を全国に発信するとともに、地域文化の一層の発展を図り、将来都市像である、人が生き、人が集う夢のあるまちづくりに資することを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標）				
秋田県で開催される国民文化祭のテーマが「発見×創造もうひとつの秋田」であり、大仙市では、足元の文化資源に光をあて、今後輝きを増していく文化資源を積極的に活用し、地域の文化を守り育てるための活動に励んでいる方々の育成に努める。特に、次代を担う若者や子どもたちが文化の力を再認識する祭典となることを目標とする。 【目標数値】 交流人口10万人				
3. 事業の概要				
<p>■大仙市主催事業 22,840千円 市主催事業として、「足元の文化を見つめ、光を当てる」をテーマに3つの事業を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国指定名勝旧池田氏庭園 秋の園遊会 園遊会、華道、茶道、句会、歌会、箏の演奏、弦楽五重奏、郷土芸能 ○囲碁サミット2014 in大仙 <ul style="list-style-type: none"> ・トークセッション、パネルディスカッション ・子ども囲碁大会、入門教室等 ○秋田の美×写真の力 <ul style="list-style-type: none"> ・「木村伊兵衛氏」特別写真展 ・シンポジウム「木村伊兵衛の世界」 ・「秋田美人」フォトコンテスト等 <p>■プレイベント 2,701千円 国民文化祭の気運を高めるため、本開催に先がけ4つのプレイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国指定名勝旧池田氏庭園 郷土芸能等 ○囲碁サミット2014 子どもミニ囲碁大会、囲碁講習会等 ○秋田の美×写真の力 木村伊兵衛氏の足跡をめぐる撮影会、親子向けデジタルカメラ教室等 ○ふるさと民謡 大仙市民謡愛好会による民謡公演 <p>■市民主催事業支援 3,000千円 市民または市内に活動拠点をおく文化団体等が、国民文化祭を盛り上げるために開催する事業に対し支援事業費の8割（1団体につき30万円を上限とする）</p>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
事業別実施要項や募集要項の周知徹底により、県内外からの参加者を募集する。また、市民の参加意欲向上を図り、大仙市一体となっておもてなしと文化発信を目指す。				
《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)
国民文化祭を全国への大仙市文化発信の場と捉え、着実に準備を進めている。全県で取り組む事業でもあることから重点事業として推進していく。				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
28,541	11,665			16,876
【国県支出金】 15款2項8目：国民文化祭市町村主催事業交付金				

大仙市開催事業別予算

市町村主催事業（大仙市）

【「市町村主催事業」県補助内容】

収入を除いた対象経費の8/10以内、1事業につき500万円以下
 （※但し複数事業の場合総計内であれば調整可）



■国指定名勝旧池田氏庭園 秋の園遊会	
概要	茶道・華道・句会や歌会で和の心を演出し、弦楽五重奏や箏の演奏を背景音楽として日本古来の美意識や和の風情を五感で感じられる癒しの空間を創り、おもてなしする。 ・茶道や華道によるおもてなし ・弦楽合奏や箏の演奏(会期内土曜) ・民俗芸能や伝統文化の共演 ・プレイベント(開催期間調整中)
予算額	￥ 6,084,688 (内補助対象 ￥5,350,548)

内容	【会場・日時】国指定名勝「旧池田氏庭園」 10月4日(土)～11月3日(月・祝) ・園遊会(一般公開)、華道(展示) 10月4日(土)～11月3日(月・祝) ・茶道 10月18日(土)、19日(日) 25日(土)、26日(日) 11月1日(土)、2日(日) ・箏の演奏 10月18日(土)、25日(土)、11月1日(土) ・句会 10月20日(月)～23日(木) 27日(月)～30日(木) ・歌会 10月23日(木) ・弦楽五重奏、郷土芸能 10月25日(土)
----	--



■囲碁サミット2014 in大仙	
概要	子どもの囲碁普及を推進する大仙市に、囲碁愛好者や次世代を担う子どもたちが集い、交流の輪を広げ、囲碁文化の魅力を全国に発信する。 ・トークセッション、パネルディスカッション ・子ども囲碁大会、入門教室等 ・プレイベント(開催期間調整中)
予算額	￥ 2,418,224 (内補助対象 ￥2,117,224)

内容	【会場・日時】 10月4日(土):大曲市民会館・小ホール 10月5日(日):仙北ふれあい文化センター ・囲碁サミット 10月4日(土) ・子ども囲碁大会、囲碁体験教室 10月5日(日)
----	--



■秋田の美×写真の力	
概要	大仙市を題材に多くの写真作品を撮影された、戦後の日本写真界を代表する故木村伊兵衛氏の写真展や、秋田美人をテーマとした公募写真展等、美と写真の祭典を開催する。 ・「木村伊兵衛氏」特別写真展 ・シンポジウム「木村伊兵衛の世界」 ・「秋田美人」フォトコンテスト等 ・プレイベント(5月下旬～6月上旬) (木村伊兵衛氏の足跡をめぐる撮影会) (親子向けデジカメ教室等)
予算額	￥ 14,114,631 (内補助対象 ￥7,115,200)



内容	【展 示】10月4日(土)～11月3日(月・祝) 大曲交流センター ・木村伊兵衛特別写真展 ・「秋田美人」フォトコンテスト作品展示 (募集期間: H25. 12. 2～H26. 7. 31) 【イベント】10月11日(土) 大曲市民会館・小ホール ・シンポジウム「木村伊兵衛の世界」 ・「秋田美人」フォトコンテスト公開審査
【審査員】	石黒健治 (写真家) 織作峰子 (写真家) 金子隆一 (東京都写真美術館 専門調査員) 田沼武能 (日本写真家協会会長・写真家) 西木正明 (国民文化祭あきた総合プロデューサー・作家)

■その他(市単独開催)	
概要	全事業共通経費並びに民謡プレイベント開催経費。 ・民謡プレイベント(5月中旬予定)
予算額	￥ 2,919,532 (内民謡プレイベント ￥1,993,000)

■市民主催事業支援(市単独開催)	
概要	大仙市民または市内に活動拠点をおく文化団体等が国民文化祭を盛り上げるために開催する事業を支援する。
予算額	￥ 3,000,000 事業費の8割(上限30万円)

事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合図書館

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業) 総合的な学習の場及び図書館の情報提供

【事業名】 図書購入費																				
【説明項目】 図書購入内容について																				
【26年度】	11,000 千円	【25年度】	11,000 千円	【増減額】 0 千円																
<p>1. 事業の目的</p> <p>図書館は情報発信の基地といわれており、常に新しい資料を求める市民に対し、高度・多様化する図書館ニーズへの対応とサービス水準の維持・向上を図りながら、特色ある公立図書館の構築を目指すため、要求図書・専門図書などの充実を図ることを目的とする。</p>																				
<p>2. 事業の目標 (数値目標)</p> <p>図書館は、多方面にわたる図書資料や情報を収集し生涯教育へのニーズに迅速かつ的確に対応できるようにサービスの提供を図る。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">【数値目標】</td> <td style="text-align: center;">H23年度</td> <td style="text-align: center;">H24年度</td> <td style="text-align: center;">現在値 (H25年度)</td> <td style="text-align: center;">目標値 (H26年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">利用者数</td> <td style="text-align: center;">75,222人</td> <td style="text-align: center;">74,120人</td> <td style="text-align: center;">71,904人</td> <td style="text-align: center;">75,000人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">蔵書数</td> <td style="text-align: center;">276,832冊</td> <td style="text-align: center;">285,378冊</td> <td style="text-align: center;">293,973冊</td> <td style="text-align: center;">302,500冊</td> </tr> </table>					【数値目標】	H23年度	H24年度	現在値 (H25年度)	目標値 (H26年度)	利用者数	75,222人	74,120人	71,904人	75,000人	蔵書数	276,832冊	285,378冊	293,973冊	302,500冊	
【数値目標】	H23年度	H24年度	現在値 (H25年度)	目標値 (H26年度)																
利用者数	75,222人	74,120人	71,904人	75,000人																
蔵書数	276,832冊	285,378冊	293,973冊	302,500冊																
<p>3. 事業の概要</p> <p>TRC (図書館流通センター) より購入しているベルコースに関しては、話題本が定期的に送られてくるので現状のままとして、それ以外に関しては、定例の選書会議を開催し、各図書館の特徴 (地域性) を重んじた選書に努め、極力重複することのないように蔵書構成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TRC<ベルコース> 2,120冊 3,270千円 日本文芸書、外国文芸書、児童読み物、中・高校生用、ビジネス・くらしの経済、くらしの法律、教育と福祉、世界の文化、現代社会、住まいと住宅、健康と家庭の医学等 ・ 選書 3,555冊 6,730千円 一般図書、児童図書、大型絵本、郷土資料、参考図書等 ・ 視聴覚資料 170巻 1,000千円 DVD, CD (音楽・朗読) <p>○各図書館で重点を置き購入したい図書</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">大 曲</td> <td>調べ学習図書 (児童図書)、研究調査に必要な辞典・事典・年鑑・白書 (参考図書)、郷土資料、専門図書</td> </tr> <tr> <td>神 岡</td> <td>野球関係書、実用図書、児童図書</td> </tr> <tr> <td>西仙北</td> <td>児童支援サービス資料、学校や保育園の活動・学習を支援する資料、自然科学資料、医療系実用書</td> </tr> <tr> <td>中 仙</td> <td>黒澤文庫を中心とした芸術文化資料</td> </tr> <tr> <td>協 和</td> <td>郷土資料、児童書 (調べ学習用)</td> </tr> <tr> <td>南 外</td> <td>児童向け絵本</td> </tr> <tr> <td>仙 北</td> <td>視聴覚図書、調査・学習に必要な参考図書 (辞典・事典・年鑑・全集)、郷土資料</td> </tr> <tr> <td>太 田</td> <td>絵本・調べ学習用図書 (児童図書)、大型絵本</td> </tr> </table>					大 曲	調べ学習図書 (児童図書)、研究調査に必要な辞典・事典・年鑑・白書 (参考図書)、郷土資料、専門図書	神 岡	野球関係書、実用図書、児童図書	西仙北	児童支援サービス資料、学校や保育園の活動・学習を支援する資料、自然科学資料、医療系実用書	中 仙	黒澤文庫を中心とした芸術文化資料	協 和	郷土資料、児童書 (調べ学習用)	南 外	児童向け絵本	仙 北	視聴覚図書、調査・学習に必要な参考図書 (辞典・事典・年鑑・全集)、郷土資料	太 田	絵本・調べ学習用図書 (児童図書)、大型絵本
大 曲	調べ学習図書 (児童図書)、研究調査に必要な辞典・事典・年鑑・白書 (参考図書)、郷土資料、専門図書																			
神 岡	野球関係書、実用図書、児童図書																			
西仙北	児童支援サービス資料、学校や保育園の活動・学習を支援する資料、自然科学資料、医療系実用書																			
中 仙	黒澤文庫を中心とした芸術文化資料																			
協 和	郷土資料、児童書 (調べ学習用)																			
南 外	児童向け絵本																			
仙 北	視聴覚図書、調査・学習に必要な参考図書 (辞典・事典・年鑑・全集)、郷土資料																			
太 田	絵本・調べ学習用図書 (児童図書)、大型絵本																			
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例選書会議を開催し、各図書館の蔵書計画を見据えての購入が可能になった。 ・ 図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用し市民サービスの向上を図る。 																				
<p>《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例選書会議により重複本を極力避け、各図書館のニーズに合った図書購入が図られた。 ・ 学校の調べ学習に関する図書の充実を図った。 ・ 図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用した。(9,111冊) ・ 図書の貸出しについては、予約によるものが増大している。(10,210冊) 				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>現状のまま 継続</p>																
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">予算額</td> <td style="width: 20%;">国県支出金</td> <td style="width: 20%;">市債</td> <td style="width: 20%;">その他</td> <td style="width: 20%;">一般財源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">11,000</td> </tr> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	11,000				11,000						
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																
11,000				11,000																

事業説明書

10 款 5 項 4 目 99 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合図書館

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業) 総合的な学習の場及び図書の情報提供

【事業名】 子ども読書活動推進事業費				
【説明項目】 ブックスタート事業及び公立図書館と学校図書館の連携にかかる経費について				
【26年度】	5,837 千円	【25年度】	5,880 千円	【増減額】 △ 43 千円
1. 事業の目的 「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から平成26年度までの5年間、子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成する。				
2. 事業の目標（数値目標） 大仙市の子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、4項目の基本目標に沿って読書活動を推進する。				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭・地域における読書活動の推進 2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進 3. 学校における読書活動の推進 4. 図書館における読書活動の推進 				
【目標数値】 読書活動推進計画の柱となる24の施策		現在値（H25年度） 24施策実施済	目標値（H26年度） 24施策実施	
3. 事業の概要				
○ブックスタート事業（家庭・地域における読書活動の推進） 4ヵ月児健診時に、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡す。 『語りかける愛情で、赤ちゃんの幸せを広げたい』 ・ブックスタートパックの中身 絵本2冊（「びよーん」、「ぎゅっミニブック」）、子育て情報誌、図書館案内、利用カード申請書、読み聞かせの日程案内書等				
○公立図書館と学校図書館の連携 子ども読書支援サポーター3名（司書有資格者）を大曲地域（大曲図書館）、東部地域（仙北図書館）、西部地域（西仙北図書館）に配置。特に小学校を巡回し、子どもの読書活動に対する支援体制を強化するとともに、学校図書館の活動を整備支援する。				
平成26年度の事業予算				
○ブックスタート事業		1,080 千円		
○公立図書館と学校図書館の連携		4,451 千円		
○その他（旅費、消耗品費等、ボランティア保険）		306 千円		
4. これまでの成果と今後の方向性				
○平成25年度は、地域雇用基金により子ども読書支援サポーターによる学校図書館への支援体制が整えられた。				
○ふるさと納税による各学校における「ふるさと納税文庫」の整備（平成25年度：3,573冊）にあたっては、子ども読書支援サポーターが選書・装備の助言を行っている。				
○平成26年度で「読書活動推進計画」の期間が終了するので、これを引き継ぐ形で改訂した第2次の計画を策定し、継続した事業を平成27年度から実施したいと考えている。				
《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 ○ブックスタート事業については、定着してきており保護者からも好評を得ている。 ○子ども読書支援サポーターの配置により、学校図書館との連携が密になり授業で使う本の相談等に応じていることから団体貸出を積極的に行っている。また、学校図書館ボランティアに対する指導・助言や研修会の講師を引き受けるなど、学校図書館の活動を活発化させている。				総合評価 （今後の方向性） 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,837			4,451	1,386
【その他】 18款1項1目：地域雇用基金				

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課総合市民会館

(施策の大綱) 芸術、文化活動の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

【事業名】 総合市民会館運営費 【説明項目】 自主事業公演運営費（4館）について						
【26年度】 40,128 千円		【25年度】 40,129 千円		【増減額】 △ 1 千円		
1. 事業の目的 優れた舞台芸術を身近に鑑賞する機会を提供し、市民の芸術文化意識の発展向上を図ることを目的とする。						
2. 事業の目標（数値目標） ■市内4館の立地・舞台設備、及び地域芸術文化の特色を生かし、多様な自主事業公演を展開する。 ■市民の目線からの意見や提案を積極的に取り入れながら、全市的な立場から大仙市として統一のとれた自主事業公演を実施する。						
3. 事業の概要 ■自衛隊音楽隊・クラシック音楽・演劇・映画・ポップス・落語・民俗芸能・能など幅広いジャンルの公演を市民に提供する。 ■4館自主事業公演実施費用（各館の事業詳細については別紙記載）						
		【平成26年度事業】 (千円)				
		事業費	入場料収入	一般財源	収支	
■大曲市民会館の「劇団四季ミュージカル」及び「ポップス系コンサート」は、開館20周年記念事業として行うものである。また、これまで実施要望の多かった「若い世代向け」の事業を昨年度に引き続き計画した。 ■全体的に昨年度より収支比率の高い公演を計画している。(H24年度の収支比率…44%)		大曲市民会館（5事業）	18,513	13,567	4,946	73%
		中仙市民会館（6事業）	10,076	5,176	4,900	51%
		協和市民会館（3事業）	9,439	4,665	4,774	49%
		仙北ふれあい文化センター（2事業）	2,100	510	1,590	24%
		4館チケット販売手数料等		各館に含む		
		計	40,128	23,918	16,210	60%
収支比率(入場料収入÷事業費)は、H24年度・秋田県公文協加盟直営館平均=48.2%						
4. これまでの成果と今後の方向性 ■良質な舞台芸術は多くの市民に感動を与え、知的欲求や創意を生み出し、新たな創造活動を誘発する。 ■H25年度はこれまでより「共催事業」を多くし、一般財源負担の軽減と多彩なジャンルの提供に努めた。 ■NHK「BS日本のうた」の共催誘致を図り、90分間の全国放送番組により大仙市の大きなPRとなった。 ■H25年度の事業で「文化庁 芸術文化振興基金 助成金」を初めて申請し、160万円の交付決定となった。 ■引き続き「宝くじ文化公演」等の助成制度を活用し、収支比率の改善に努める。						
《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 ■平成23年度に、自主文化事業の企画立案を図り、協働によるまちづくりの推進に資することを目的として、新たに一般市民からなる「大仙市市民会館等運営連絡協議会」を設置し、引き続き運営している。 ■市民ニーズの多様化にあわせ、各ジャンルの公演を実施し、市民に満足していただいている。 ■優れた芸術文化の鑑賞機会の拡大のため、財政状況を勘案しつつ、一定の財政負担のもとで、継続的に自主事業を市民に提供することが必要である。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続		
5. 財源内訳 (単位:千円)						
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源		
40,128			23,918	16,210		
【そ の 他】 20款5項3目：雑入（入場料等収入）						

26年度 4館自主事業公演

	事業名	実施年月日	公演形態	入場料金	入場者数	事業費	入場料収入	一般財源	公演委託
				(前売り)円	人				
大曲市民会館	1 開館20周年記念事業 ポップス系コンサート	6月～11月	自主	S席7,000	998	8,983	6,986	1,997	8,060
	2 開館20周年記念事業 劇団四季 ミュージカル	H26.10.9(木)	自主	S席7,560 A席6,480	700	6,660	5,130	1,530	5,400
	3 宝くじ公演 まちの音楽会(南こうせつコンサート)	7月～12月	自主	S席2,000	800	1,148	800	348	0
	4 三井住友海上文化財団 地域住民のためのコンサート(仲道郁代ピアノコンサート)	7月～12月	自主	S席1,500	500	1,148	650	498	0
	5 NHK公開番組 上方演芸会	7月～12月	自主	入場無料	500	574	0	574	0
	※国民文化祭 民謡の祭典	H26.10.26(日)	-	-	-	-	-	-	-
		その他歳入	チケット販売手数料				1		
H26年度予算						18,513	13,567	4,946	73%
H25年度予算						17,075	8,496	8,579	50%
中仙市民会館	1 海上自衛隊大湊音楽隊コンサート	未定	自主	入場無料	500	522	0	522	325
	2 松竹特別公演「ピーターレビュー&愛の賛歌・越路吹雪を慕って」	H26.8.26(火)	自主	S席5,000 A席4,500	500	4,030	2,325	1,705	3,150
	3 ドンパルJAZZ2014 寺井尚子クアルテットJAZZコンサート	H26.7.11(金)	自主	S席3,000 A席2,500	500	2,633	1,400	1,233	1,890
	4 宝くじ文化事業 エキサイティングプラスコンサート	H26.10.12(日)	自主	S席2,000 学生1,000	500	855	400	455	0
	5 須川展也サクソフォンリサイタル	H26.12.14(日)	自主	一般3,000 学生1,000	500	1,800	950	850	1,050
	6 優秀映画鑑賞会	1月下旬	自主	全席自由500	200	236	100	136	84
		その他歳入	チケット販売手数料				1		
H26年度予算						10,076	5,176	4,900	51%
H25年度予算						11,998	4,377	7,621	36%
協和市民センター	1 自衛隊音楽隊コンサート	6月	自主	入場無料	500	572	0	572	500
	2 小椋佳コンサート～歌紡ぎの会～	11月	自主	S席4,500	480	4,430	2,160	2,270	3,550
	3 能公演(観世流)	H26.9.7(日)	自主	S席8,000 A席7,000	320	4,437	2,475	1,962	3,459
		その他歳入	チケット販売手数料				30		
H26年度予算						9,439	4,665	4,774	49%
H25年度予算						9,056	4,230	4,826	47%
ふれ文	1 民俗芸能フェスティバル ～史跡の里で夢の競演～	9月	自主	全席1,000	450	1,600	490	1,110	1,230
	2 史跡の里ふれあいコンサート(自衛隊音楽隊)	10月	自主	入場無料	500	500	0	500	500
		その他歳入	チケット販売手数料				20		
	H26年度予算						2,100	510	1,590
H25年度予算						2,000	550	1,450	28%
4館計				H26年度予算合計		40,128	23,918	16,210	60%
				H25年度予算合計		40,129	17,653	22,476	44%

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保存活用施設の整備

【事業名】 文化財保護施設管理費

【説明項目】 市内の民俗資料館及び文化財関連施設等の管理運営と施設整備について

【26年度】 18,644 千円 【25年度】 11,644 千円 【増減額】 7,000 千円

1. 事業の目的

総合民俗資料交流館及び南外民俗資料交流館の二つの施設において、資料等の保管展示を行うとともに、地域間や世代間の交流並びに教科学習、生涯学習など、ふるさとの生活文化の歴史を学ぶ施設としての管理運営を目的とする。また、文化財収蔵施設の統廃合や利用者のニーズにあった施設整備も実施する。

2. 事業の目標（数値目標）

総合民俗資料交流館については、市内の全体を網羅した総合的な資料展示や企画展を開催し、年間来館者数5,000人を目標とする。南外民俗資料交流館については、指定管理を行うものであるが、来館者数の増加を実現するために、国登録有形民俗文化財「南外の仕事着」などの特徴ある資料展示を行うことを管理運営の目標とする。

また、文化財情報を発信する役割を備えた観光的文化財施設（唐松神社）に隣接する既存広場の舗装整備、及び総合民俗資料交流館の施設改修のための調査を行う。

3. 事業の概要

■総合民俗資料交流館（愛称：くらしの歴史館）・・・11,603 千円

休館日：毎週月曜日及び12月29日から1月3日

施設の維持管理費 7,924千円

来館者数：平成24年度 6,813人、平成25年度（4月～12月末） 5,066人

※新規分：くらしの歴史館改修実施設計業務委託料： 3,679千円（ねらい→安全性と利便性向上）

■南外民俗資料交流館・・・4,346 千円（南外公民館分）

平成20年度から「厚生ビル管理株式会社」が隣接の温泉施設「南外ふるさと館」と一体的に指定管理を行っている。（指定期間：H22.4.1～H27.3.31）来館者数：平成24年度 1,068人

■伝統と文化の広場の整備（※新規分：唐松神社近接地に設置）・・・2,695 千円

市の西の玄関口となる文化財施設（県指定、市指定の唐松神社）に隣接した場所に、来訪者へ各種伝統文化情報を発信できる広場を整備する。（ねらい→利便性確保と情報発信、学習支援）

4. これまでの成果と今後の方向性

《成果》総合民俗資料交流館については、閉校利用による民俗資料収蔵施設の統廃合で、各施設の維持管理費の削減が図られた。また、施設内に交流室や談話室を設けたことで利便性が向上し、企画展の開催なども来館者に好評で、ふるさと学習の場として成果が上がっている。

《今後の方向性》総合民俗資料交流館は、施設及び設備の経年劣化が顕著であるとともに学校から資料館に用途が変わったことによる安全対策が必須の状態であり、計画的に施設改修を行う。

また、さらなる施設の統廃合も必要であり、かつ、利用者の利便性などニーズにあわせた施設等の整備も必要となっている。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

効率性：民俗資料等を収蔵していた大曲民俗資料館、南外民俗資料収蔵庫、協和大盛資料室などから資料を移転集約し、老朽化していた各施設を解体することで維持管理費の削減につながったが、今後も更なる集約等が必要と思われる。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
18,644				18,644

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 14 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】	払田柵跡環境整備事業費				
【説明項目】	復元材木塀建替工事等について				
【26年度】	30,345 千円	【25年度】	30,316 千円	【増減額】	29 千円

1. 事業の目的

国指定史跡の保存を図ると共に、わが国の歴史を正しく理解できるように遺跡の性格や内容をわかりやすく復元表現することで、多くの見学者から史跡公園として利用していただくことを目的とする。
また、総合学習や生涯学習及び市民の憩いの場の提供や夏祭りなど地域振興に貢献できる史跡公園として整備することで、市民の歴史的文化的意識の醸成に資するものである。

2. 事業の目標（数値目標）

第3次史跡環境整備基本計画（平成15年度策定・文化庁承認）に基づき、年次計画による復元整備と遺跡保護のための事業を実施する。

- 設定期間：平成7年度～平成35年度（予定）
- 目標数値：平成26年度末事業進捗率 約25.95%（全体事業費1,000,000千円のうち259,500千円）
（平成25年度末までの事業進捗率 約22.95%）

3. 事業の概要

現在、年次計画に基づいて進めている事業は主に外郭北東部の整備事業である。これは長森の北側の外郭北門付近の材木塀を平面表示の方法で延伸するものであるが、これと並行しながら、復元整備から約20年が経過して一部倒壊している外柵南門付近の材木塀の建替工事を実施する。

【平成26年度事業計画】 国補助率50%（補助対象経費 30,000千円）

- 復元材木塀建替工事 26,066千円
- 材木塀平面表示工事 1,809千円
- これらに伴う業務委託料など 1,749千円
 - 復元材木塀建替工事实施設計業務委託 648千円
 - 復元材木塀建替工事工事監理業務委託 301千円
 - 材木塀平面表示工事工事監理業務委託 301千円
 - 外柵南西部不陸整正業務委託 499千円（他事務費 721千円）

4. これまでの成果と今後の方向性

平成13年度から外郭北東部の整備に着手し、平成25年度には外郭北門の部分復元が完成した。県を代表する史跡公園として認知されており、教科学習や生涯学習、グラウンドゴルフやレクリエーション利用など、多目的な活用のもと年間延べ約4万人の利用実績がある。

今後も、第3次史跡環境整備基本計画に基づき、外郭北東部を中心に年次計画によって事業を行う。また、払田柵跡のシンボルとなっている復元外柵南門やその他の復元建物などの大規模修理も必要となってきた。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

- 必要性：国指定史跡の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。大田市だけでなく秋田県を代表する遺跡として、保存のための環境整備を計画的に行い、史跡活用につなげるための事業として必要である。
- 有効性：盛土整地工事や遺構の一部復元は、遺構保護及び遺跡の性格を理解するために有効な方法である。
- 効率性：現在の事務量等考慮し効率的である。

総合評価
(今後の方向性)

現状のまま
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
30,345	15,000			15,345

【国県支出金】 14款2項7目：払田柵跡環境整備事業費補助金

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 旧池田氏庭園整備事業費

【説明項目】 米蔵保存整備工事・枯死植栽補植及びガイダンス広場整備工事について

【26年度】 90,768 千円 **【25年度】** 109,120 千円 **【増減額】** △ 18,352 千円

1. 事業の目的

名勝庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、広く活用できる文化財として観光的視点を取り入れつつ地域振興を図る。

2. 事業の目標 (数値目標)

平成16年度からの「庭園整備事業(一般整備)」と、平成25年度から3年計画の「史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業(総合整備)」の二つの国庫補助事業で庭園の復元整備と案内所など便益施設の整備を実施している。

全体計画である保存整備管理計画(文化庁承認)に基づき、H16～45年度までの30年間で10年毎の3期に区分し、国庫補助事業を活用し年次計画で整備を進める。

【一般整備】・事業実施期間 平成16～45年度(予定)・概算全体事業費(目標数値) 1,000,000千円
 ・国庫補助率 2分の1以内 ・平成25年度末の進捗率 53.4%

・主な事業内容 庭園及び建物の復元整備

【総合整備】・事業実施期間 平成25～27年度(予定)・概算全体事業費(目標数値) 70,484千円

・国庫補助率 2分の1以内 ・主な事業内容 ガイダンス施設及び関連ソフト事業

なお、庭園案内所に隣接する駐車場の整備は、平成26年度において市単独事業で合わせ行う計画である。

3. 事業の概要

一般整備は、土蔵(米蔵・味噌蔵・内蔵3棟)のうち、米蔵と隣接する味噌蔵の修復工事を年次計画に基づき実施し、米蔵隣接地に公開活用のための管理棟を整備する。総合整備では、ガイダンス広場整備と公開活用のソフト事業を実施する。単独事業として、国民文化祭にあわせて駐車場の整備を行う。

◎平成26年度整備事業計画

■一般整備 事業費 61,600千円(国庫補助率 50%)

○米蔵修復工事(外壁工事・周辺部整備) 4/4年次工事 (隣接する味噌蔵を含むと7年程度)

○管理棟整備 建築面積100㎡

○庭園修復工事(分家庭園の枯死植栽の補植・枯死生垣修復他)

■総合整備 事業費 21,574千円(国庫補助率 50%)

○ガイダンス広場整備(600㎡) ○パンフレット作成等(ソフト事業)

■市単独 ○本家庭園の駐車場整備等(約550㎡) 7,274千円

4. これまでの成果と今後の方向性

庭園復元と活用施設整備の2事業の整合性を図ることで、県内外からの誘客に対応ができ、文化的観光資源として魅力を創出することが可能となる。また、市民の憩いの場、催事等の文化的な多目的な活用の場も創出できるなど、観光・地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できる。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

必要性：国指定名勝の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。

歴史的文化遺産であり大仙市を代表する文化財として整備・活用(文化的観光振興・市民の憩いと癒しの場等)を効率的、効果的に実施するための前提条件として必要な事業である。

有効性：平成25年度入園者数 24,000人を数え観光振興における効果がある。

効率性：名勝池田氏庭園保存整備管理計画に基づき、効率的に事業を進める。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
90,768	41,580	33,400		15,788

【国県支出金】 14款2項7目:池田氏庭園整備事業費補助金

【市 債】 21款1項8目:文化財保護施設整備事業債

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

【事業名】 スポーツ振興事業費 【説明項目】 スポーツ振興事業に係る経費について													
【26年度】 8,792 千円		【25年度】 7,394 千円		【増減額】 1,398 千円									
1. 事業の目的 スポーツ推進計画の基本理念に基づき、市民が生涯を通じて、市民一人ひとりのライフスタイルに応じ、気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を図る。													
2. 事業の目標（数値目標） スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・体協・スポ少等のスポーツ団体と連携を図りながら、気軽にスポーツ教室や大会に参加することができ、市民一人ひとりがライフスタイルに応じたスポーツを楽しめるような地域コミュニティの場を提供する。 ○スポーツイベント参加者数 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成24年度</td> <td style="width: 30%;">19,256人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>50,949人</td> <td>※平成25年12月までの実績</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>55,000人</td> <td>※目標</td> </tr> </table>					平成24年度	19,256人		平成25年度	50,949人	※平成25年12月までの実績	平成26年度	55,000人	※目標
平成24年度	19,256人												
平成25年度	50,949人	※平成25年12月までの実績											
平成26年度	55,000人	※目標											
3. 事業の概要 ○平成25年度から、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」を実施した。 本市では、学校や事業所単位、更には地域の全住民が気軽にスポーツ活動へ参加できる場の提供と、生涯にわたる健康・体力づくりを推進し、地域が活性化し健康で明るいまちづくりに資するため、継続的にチャレンジデーを実施する。 ○平成26年度からの新規事業として、プロ野球著名OBによる少年野球教室を年2回（春・秋）継続的に実施し、地域スポーツの振興並びに小・中学生の交流と競技技術の向上を図る。 ○その他のスポーツ事業については、多様化するスポーツニーズに対応し、市民がそれぞれのライフスタイルにあったイベントを提供し、スポーツを始めるきっかけづくりや、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなるような事業の展開に努める。 【新規】 プロ野球OB少年野球教室（820千円）、新全県駅伝負担金（210千円）、太田長距離走路公認コース更新（554千円）													
4. これまでの成果と今後の方向性 ○地域のスポーツ団体（スポーツクラブ等）と連携を図り、地域限定的なイベントについては事業委託を推進することにより、市民主導型のスポーツ環境の構築に努めている。 ○市民の多様化するスポーツニーズに応えると共に、今後は事業の統廃合や見直しを行い、効率的な運営を図る。													
《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 市が実施した「運動・スポーツに関する意識調査」によると、運動・スポーツに期待する効果として、多くが「健康水準の改善」を挙げている。これを踏まえ、市民の自主的・主体的なスポーツ活動を支援していくことに重点を置き、関係団体と連携を図りながら老若男女が気軽にスポーツに親しめる機会をつくるよう、改善しながら継続すべきである。 また、市民における健康・体力づくりの一助となるよう、健康増進センターや包括支援センター等と連携し、スポーツを通じた健康づくりの成果の検証に努める。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続									
5. 財源内訳													
(単位:千円)													
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源									
8,792				8,792									

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 競技スポーツの振興

【事業名】 スポーツ合宿等推進交流事業費

【説明項目】 スポーツ合宿等の推進及び地域交流事業について

【26年度】 2,000 千円 **【25年度】** 1,400 千円 **【増減額】** 600 千円

1. 事業の目的

スポーツ合宿、公式試合、交流試合等の実施を誘致・推進することで、スポーツ少年団や中学・高校の競技者等に刺激を与え、競技力の向上が期待できることと併せ、市民が競技スポーツへの関心を高め、またスポーツを活用したまちづくりや賑わいの創出を図り、地域の活性化に資することを目的とする。

2. 事業の目標（数値目標）

スポーツ推進計画では5つの基本目標の一つに「スポーツによる地域の活性化」を掲げており、本市では交通機関の利便性と地域資源を活かし、ハイレベルな大会や合宿等を誘致・推進することにより、地域の賑わいや交流人口を向上させることを目標とする。

H22～25スポーツ合宿実施状況の推移及びH26見込み

年度	団体数	延べ人数	平均人数	平均宿泊数	延べ合宿日数	宿泊費総額(千円)	内 訳
H22	5	1,855	46.8	7.6	43	10,810	4大学 1高校
H23	8	1,758	41.1	5.2	50	10,212	5大学 3高校
H24	12	4,151	52.3	5.8	82	24,890	8大学 4高校
H25	20	5,166	43.1	4.7	115	26,098	10大学 1専門学校 9高校
H26	21	5,500				27,000	11大学 1専門学校 9高校

3. 事業の概要

【平成25年度 スポーツ合宿実績】※H26.1.6 現在

No.	団体名	人数			延べ人数	滞在日数(日)	宿泊日数(泊)
		選手	指導者	小計			
1	秋田商業高校(テニス)	19	4	23	69	3	2
2	青森高校	33	2	35	105	3	2
3	山形中央高校	38	3	41	82	2	1
4	浦和実業高校	60	3	63	189	3	2
5	横浜商科大	71	3	74	586	8	14
6	成蹊大学	54	1	55	327	6	5
7	ウェルネス専門学校	21	1	22	153	7	6
8	成城大学	42	3	45	258	6	5
9	千葉商科大学	59	3	62	496	8	7
10	上智大学	42	1	43	281	7	6
11	学習院大学	82	7	89	683	8	7
12	霧が丘高校	31	2	33	132	4	3
13	明治学院大学	40	1	41	364	9	8
14	立教大学(準硬式野球)	55	1	56	448	8	7
15	東京学芸大付属高校	19	3	22	153	7	6
16	日本体育大学(集団行動)	77	3	80	480	6	5
17	東北学院大学(軟式野球)	24	1	25	100	5	4
18	秋田商業高校(テニス)	9	1	10	40	4	3
19	秋田聖霊高校(テニス)	12	2	14	70	5	4
20	豊南高校(ソフトテニス)	18	7	25	150	6	5
	計	806	52	858	5,166	115	102

【新規】平成26年度は、秋田県スポーツ合宿等誘致推進事業補助金に申請したが不採択となった団体を対象に、市が相当分を補完する制度を設ける。(1,000円×600人分=600,000円)増額。

4. これまでの成果と今後の方向性

平成10年度から継続的に夏季合宿を行っている横浜商科大学・東京学芸大附属高校をはじめ、平成22年度から本格的に合宿を招致・推進してきた結果、合宿校は順調に推移しており、平成25年度は1月現在で20校が本市で合宿を実施している。今後は、更に充実した合宿が出来るよう環境と設備の整備を図る。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

平成25年度のスポーツ合宿は、首都圏の10大学・1専門学校と市内外から9高校、総人数858人、延べ人数5,166人となっている。前年度と比較すると総人数で230人増、延べ人数で1,015人増と大幅に増加している。

ただし、夏季野球合宿の受け入れには、会場の確保など限界が見え始めていることから今後は屋内施設等を利用した合宿を積極的に推進して招致活動を実施していく。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
2,000				2,000